



希望のもてる安全安心を目指して

小野町議会議長 大和田 昭

新年あけましておめでとうございます。
平成21年の年頭にあたり、小野町議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、議員改選により、新しい14名の議員が選出され、新しい体制で議会運営に当たってまいりました。町民の皆様には、日頃から、議会運営に対する温かいご理解と、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、原油価格の高騰や食品に対する安全問題、年金不安や少子高齢化がもたらす諸問題、地球環境問題や地域間紛争、更には、混迷する時代を反映するかのごとく、凶悪犯罪や心痛な事件が数多く起こった一年でありました。

また、経済面を見ますと、大都市の景気の回復傾向が、地方において実感できないまま、金融不安などの影響により株安や円高による景気の減退、地方経済や私たちの生活に直接影響が及び、一段と厳しい一年でありましたが、今年こそ、明るい希望がもてる年になることを願ってやみません。

一方、地方分権改革は、本格的な実行の段階に入り、各自治体は担い手として、それぞれの権限に応じた自己責任が求められており、住民の参画のもと、自らの判断と責任において多様な施策を展開していくことが必要とされます。

このような中、平成21年は、未来に向かい、希望のもてる、安全で安心な生活ができるよう

な、諸施策の展開が必要です。

ふるさとの環境を育んでいる、国民の財産とも言える農地を守り育て、豊かな地域資源を次世代に引き継ぐことは重要な役割であり、農村を整備し里山をつくり、地球環境を守り国土を保全することは、現在を生きる私たちの使命と感じております。

また、交流人口や定住人口を増加させ町の活性化を目指すための二地域居住事業の推進、未来を担う児童・生徒のための小・中学校の教育環境の整備も重要な施策と考えております。

この他、町政の取り組み課題も、少子高齢化策をはじめとして、景気浮揚策、企業誘致などの雇用対策、行財政の改革、教育や福祉・医療の改革、生活関連施設や生活道路整備、右支夏井川などの社会資本の整備等、多岐にわたっております。

議会といたしましても、このような課題を見据え、町民の皆様がより一層快適に居住し、働き、憩うことができ「誰もが来たくなる、住んでみたくなる小野町」の実現を目指し、町執行部と互いに知恵を出し合いながら、全力で取り組んでまいります。

また、町民の皆様への負託にこたえ、活発な議論を通じて切磋琢磨し、開かれた議会運営を心がけ、議決機関としての小野町議会の責務を着実に果たしてまいります。

最後に、本年が明るく希望の持てる年となりますよう、また、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。